

# 子ども 子どもが自立してドリルに取り組めます



## 「わかった!」「できる!」 が続く

### 基礎から応用までを網羅

レベルや単元ごとにドリルが分かれているので、自分にあった難易度や、取り組みたい単元を自由に選んで学習できます。

▼単元別に構成

|   |            |
|---|------------|
| 1 | 三字以上の熟語の構成 |
| 2 | 文と文とのつながり  |

### AIによる伴走でつまづきを解消

AIドリル※(p.13参照)では、習熟度に応じて問題を分けて出題することでつまづきを予防。誤答の原因を聞きほぐし、「わかった」「できる」の気持ちが続きます。



誤答のあったAさんには  
**苦手を解消する  
フォロー問題**  
を出題



全問正解のBさんには  
**応用問題**  
を出題

※学習者の習熟度に応じてドリルパークの問題が出し分けられたり、復習や課題配信機能で個別最適化された問題が出題されます。

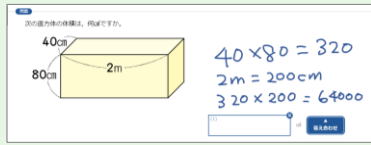
### 紙ドリルのような便利さを実現

漢字の書き取りや、計算の途中式を手書きのメモで残しておける機能など、紙のドリルと同じような感覚で学習できます。

▼漢字ドリル



▼手書きメモ



### 正誤だけでなく、考え方も確認

「ヒント」や「イラスト解説」で、解答のための考え方を学べます。



## 「もっとやりたい」 気持ちを引き出す

### ポイントやメダルを獲得

ドリルに取り組むごとにポイントを獲得。ポイントがたまると、グレードが上がっていきます。さらに、連続して正答するとボーナスポイントとなるメダルを付与。正答したことへの達成感を醸成します。ゲーム感覚で友達とポイントを競ったり、次のグレードを目標にしてドリルに取り組むモチベーションを引き出します。



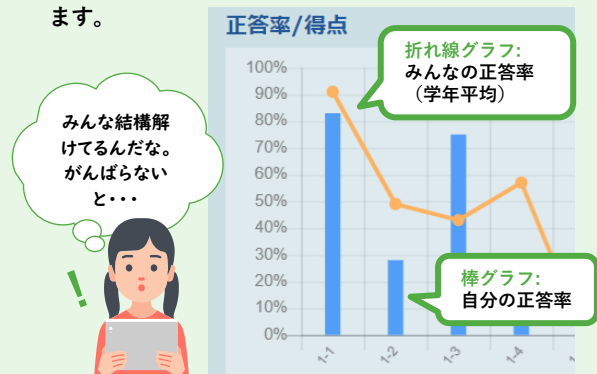
### 間違えた問題だけを復習できる

間違えた問題だけに特化して解き直せるので、手軽に効率よく復習できます。復習に向かう気持ちのハードルを低くし、つまづきの芽を小さなうちに解消していけます。

まちがえた問題だけとく

### みんなの正答率と比較 ※AIドリルのみ

学習履歴で、学年の平均と自分の正答率がグラフで比較できるため、自分に足りていない力を客観的に把握できます。



## 先生 指導負担を軽減。手軽な配信 & 提出管理

宿題や小テストが  
手軽にできる

子どもがどう取り組ん  
いるかわかって、  
安心



### 単元テストの配信や 問題作成の負担を軽減

#### 問題を選ぶだけ

先生は該当の単元ドリルを選ぶだけで、簡単に単元テストを配信できます。難易度も基礎から応用まで幅広く、授業後の小テストや、単元終了時の確認テストなどさまざまな場面に対応できます。

#### 期限の設定、予約配信も

課題に期限を設定したり、あらかじめ作成しておいた課題を所定の日に予約配信したり、配信・提出管理に関する機能も充実。

また、配信した課題に取り組んでいない子どもや、問題をやり残している子どもなど、声掛けや指導が必要な子どもを先生画面ですばやくチェックできます。

#### オリジナル問題を作成可

先生独自の問題を作成して配信できます。作成した問題は他の先生にも共有できます。



### 子どもの取り組み状況や、 理解度をひと目で確認

#### 子どもの頑張りがわかる

個々の子どもがいつ・どんな問題に取り組み、どう解答したかを先生画面で確認できます。



#### クラスの様子がわかる

クラス単位での平均取り組み時間や平均正答率もわかるので、活発に利用しているクラスや、他のクラスに比べて苦手になっている単元などを発見できます。



他のクラスに比べて全体的  
正答率が低い。基礎に遡っ  
て復習が必要。



+α

コメントや  
スタンプ送信

- 頑張りをほめたり気づきを与えるひとことコメントを送れます。※送信したコメントは子どもが1回表示すると自動的に削除されます。再表示できません。
- 先生が取り組みを見守っていることをスタンプで手軽に伝えることができます。※AIドリルのみ

がんばってるね。  
その調子!

